

飛翔



CONTENTS

- ・～特集～ 仁風学園
- 児童の養育におけるグループ活動の活用……………2
- ・平成26年度事業計画……………4
- ・平成25年度事業報告……………5
- ・ねっとわーく～施設の窓から～……………6
- ・平成26年度新規採用職員紹介……………11
- ・シリーズ男……………12
- ・平成25年度決算報告……………14



社会福祉法人 鹿児島県社会福祉事業団

Kagoshima Social Welfare Service Corporation

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号鹿児島県社会福祉センター4F

TEL 099-257-7667 FAX 099-259-3939

E-mail syakai-j@topaz.ocn.ne.jp URL www.kagoshima-swc.jp

特集 児童養護施設 仁風学園 児童の養育におけるグループ活動の活用

グループ活動を始めたきっかけ

現在、五十九名の子どもの様々な養育環境を背負い、仁風学園で生活しています。近年、自分の気持ちを上手く表現できず、交友関係でのトラブル等をおこしたり、コミュニケーション能力不足や年齢相応の人間関係の構築が出来ていないと思われる子どもが多く見られるように思います。

このような子どもは言葉より先に手が出てしまうことも多々あり、暴力以外での解決方法を身につかせるため頭を悩ませることもありました。

このような問題をどのように解決していくか、職員間で議論を重ねた結果、生活上の工夫のみでの発達支援では不十分との考えから、教える“に加え、支え合う”という視点も取り入れた支援を行うこととなりました。

グループ活動の目的

子どもたちは養育環境の整わない中で育ち、快“不快”といった人生初期で獲得され



こびと探索中

るべき情動発達が未成熟なまま、生活年齢のみが上がり、心の成長が遅滞しているのではないかと考えがグループ活動の発端となっています。グループ活動を通して子どもたちと職員が「快感情」を共に味わい、活動計画を一緒に立て行っていく事で、互いに責任感を持つて支え合うといった関わり合いの中で、年齢相応の人間関係の構築や、コミュニケーション能力の向上、発達の底上げを図ることを目的としています。

また、発達段階に置いて得られるべき、性“の知識を”生“

の知識としても捉え、「生きる事を教える」という意味も込めて活動しています。

グループ活動の実際

幼稚園生から小学生を対象とし、心理職員を中心に、月一〜二回程度実施しています。子ども同士の関係性や、子ども自身の好きなものを考慮し四つのグループに編成しました。各グループには職員も複数入り一緒に活動しています。

① 「こびと探検隊」

探検や生き物が好きな子どもを中心としたグループです。こびと図鑑（アニメ）をモチーフにしています。「こびと図鑑」に載っているこびとを実際に探索するということが目的であり、DVDや本を参考にしながら、担当職員と一緒に仕掛け等を製作していきましました。

この活動を通して、子どもと職員間だけでなく、グループ間の絆（チーム力）も強まっています。隊長になった子どもは今まで、自分本位な



こびとの部屋づくり

行動が多かったです。下級生の怠慢な行動に注意するなど、手本となる行動が出来るようになっていきました。今回のグループ活動によって、子どもたちの経験はさらに豊かなものとなり、一人ひとりに小さな成長が見られました。

② 「カブトレンジャー」

活動が活発な子どもを中心としたグループです。戦隊アニメをモチーフに、学園の平和を守る事を目的にしています。戦隊ストーリーですので、カブトレンジャー発足の理由や内容は職員で考えました。悪の組織が仁風学園を乗っ取るうとし、仁風学園の平和を守るため5人の戦士が立ち上がり、日常的な決まり事や常識を守らないといけない（交友関係の構築、自然愛護）事を絡ませながら悪に立ち向

かつていく設定にしました。子どもと共にテーマソングの作成や、怪人を倒す作戦会議を行ったりと普段の関わりの中では経験できないことを経験できました。



悪の組織と戦うための特訓中

③「トラック団」

工作好きな子どもを中心としています。このグループではミニ四駆を自分たちで作って走らせるという目標を立てました。

「トラック団」の会員証を皆で作り、グループ活動を行うときは、会員証を首に掛けて行う事が子どもたちのルールになります。

また、活動と同時進行で性（生）教育も行いました。性（生）教育では、生命誕生に関する内容（赤ちゃんが生まれる）や、「良いタッチ（うれしい・楽しい・安心）心が

温かくなるタッチ」と「悪いタッチ（痛い・怖い・悲しい）心に変な感じになるタッチ」について、カードの絵が良いタッチなのか、悪いタッチなのかを子どもたちだけで分類し、そのカードを選んだ理由を発表しました。

活動を通して、皆で教え合う意識が養われ、子どもたち一人ひとりが目標に向かって頑張ること、そして、皆で協力し合うことを学んだのではないかと思います。



ミニ四駆作り

④「ハンターハンター部隊」

漫画が好きな子どもを中心としたグループです。

活動と同時進行で、ロードマップ方式で、「性」と「生」の教育を行いました。「男女の身体の仕組み」や「名称について」「相手の気持ちや自分の気持ちについて」と内容



特殊能力「念」の属性を見分ける「水見式」

は様々ですが、メンバーは真剣に取り組み、集中力の高さを感じる程でした。

リーダーも補佐も、メンバーの招集や日時の伝達、メンバーの統制に力を発揮してくれ、役割を十分に果たしてくれました。遊ぶ時間を割いての活動で、窮屈な思いもさせてしまったかもしれませんが、今後成長し大人に向かう中で必要な知識を学び、年齢の近い児童等が、同じ目的の下に活動を行うという経験を、今後の成長に活かしていきたいと思えます。

活動の効果と課題

四つのグループ活動を行う中で感じたことは、今回の活動を通じて、職員と子どもとの関係がより近くなり、感情表現が少しずつ出来るように

なったり、協調性が芽生えたり、相手の気持ちを考えようとしたりと快感情（安心や自信喜び、感謝などの言葉で表現される感情）が少しずつそれぞれの生活年齢に近づいてきたのではないかと思います。

グループ活動で子どもたちがこれまで経験できなかったことを全て穴埋めできるわけではなく、またそれを目標とはしていませんが、職員が新たな視点を持ち関わっていることも重要だと思えます。

子どもと接する職員側の「見立てる力」を向上させ、「見立て」を基盤に関わり合い、その関わりが子どもたちにとって心地良いものであるように、生活支援とは少し違った非日常的空間の中で、今後子どもと職員が共に成長することが出来る活動でありたいと思えます。



ロードマップをしている様子

平成26年度事業計画

日本経済は、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略の「三本の矢」の効果から、上向き傾向にあるとは言えるものの、景気回復の実感は未だ十分に浸透しておらず、物価動向についてもデフレ脱却も道半ばである。また、財政状況は、少子高齢化等の要因によって悪化が続く中、リーマンショック後の経済危機への対応、東日本大震災への対応等が重なって、近年著しく悪化が進み極めて厳しい状況にある。

こうした中、県においては、高齢化の急速な進行や医療費の増により扶助費が引き続き増高する傾向にあり、公債費も引き続き高水準で推移することが見込まれているなど、今後とも厳しい財政状況が続くものと見込まれる。

このような状況の下、子ども・子育て新制度の実施、消費税の引き上げによる診療・介護報酬の体系的な見直しなど、各種の社会福祉制度改革が推進されることとされ、当事業団を取り巻く環境は、先行き不透明な状況である。

こうした中、さらなる県民福祉の増進や福祉サービスの質の向上に引き続き努めるとともに、永続的に事業団に与えられた使命を果たしていくために、経営計画に示されている諸課題に積極的に取り組み、財政基盤の強化を図っていく必要がある。

さらに、各施設においては引き続き、当事業団職員倫理綱領に基づき、利用者や地域等のニーズを的確にとらえ質の高いきめ細やかなサービスの提供と自立に向けた支援の充実に努めるとともに、地域における社会福祉事業の担い手として、厳しい競争の原理に耐え得るより高い水準の事業経営を推進する。

1 質の高い福祉サービスの提供

利用者への質の高いサービスを提供するため施設理念を集約した法人理念を構築し、理念に沿った施設経営を目指す。個々の利用者毎の個別支援計画の充実に努めることにより、サービスの質の向上を図って行く。利用者が自立して、豊かな生活を送れるように専門的なサービス向上を目指し、目標を設定して実践する。また、同種の施設においては共通目標の設定や施設別目標の共有化を図る事で法人内他施設の取組内容を認知する。

2 地域福祉の推進

社会福祉法人の使命の一つである社会貢献について協議し、具体化した計画に基づいて実践していく。また、法人（各施設）が現在持っている専門性を活かせるような事業所情報の積極的な収集に努めるとともに、新たに自主事業の展開を検討し地域福祉の推進に積極的に貢献する。

3 経営基盤強化

施設別財務状況と法人財務状況を十分に理解し、施設目標と法人目標を連動させて推進することで、財務基盤の安定化を図る。社会福祉法人であっても無駄のない効率的な経営を行う事で、一層の財務基盤強化を図る。

4 人材の育成

人材育成を重視する。施設内研修の実情を確認した上で研修の内製化に取り組み、サービスの質の向上につなげていく。また、定期的な職員満足度調査の実施、事業団の事業内容を理解するような勉強会を企画し帰属意識を高めていく。

5 法人の一体的経営

施設整備が続く中ではあるが、PDCAマネジメントサイクルを浸透させ経営の安定と持続的発展を目指す。育成の視点についても継続協議していく事で、各職員が自らの等級の一つ上を目指して業務にあたるような仕組みを検討していく。



平成25年度 事業報告

日本経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により弱さが残るものの、次第にその影響が薄れ、各種政策の効果が発現するなかで、緩やかに回復していくことが期待されている。

こうした中、県においては、高齢化の進行や扶助費が引き続き増嵩する傾向にあり、また、公債費についても引き続き高水準で推移することが見込まれるなど、厳しい財政状況が続いているところである。

事業団を取り巻く環境も、子ども・子育て新システムの推進や診療・介護報酬の体系的な見直しなどの各種社会福祉制度の改革、消費税率の引上げ等、めまぐるしく変化しており、これらへの適確な対応が求められている。

このような中、当事業団は、さらなる県民福祉の増進や福祉サービスの質の向上に努めるとともに、今後とも永続的にその使命を果たしていくために、新たに策定した「経営計画」の「質の高い福祉サービスの提供」、「地域福祉の推進」、「経営基盤強化」、「人材の育成」及び「法人の一体的経営」の5つの柱に基づき、「自律的かつ自主的な経営」を目指し各種事業に取り組んだところである。

さらに、各施設においては、当事業団職員倫理綱領に基づき、利用者や地域等のニーズを的確にとらえ、質の高いきめ細やかなサービスの提供と、自立に向けた支援の充実に努めるとともに、地域における社会福祉事業の担い手として、厳しい競争の原理に耐え得るより高い水準の事業経営に努めた。

1 質の高い福祉サービスの提供

利用者へ質の高いサービスを提供するため施設理念を集約した法人理念の検討を行った。また、個別支援計画の充実を図るための意見交換を行うとともに、接遇マナーの向上とリスクマネジメント体制の再構築に向けて、取組内容の明確化を行った。特に、社会的養護関係施設においては、いち早く第三者評価を受審し、利用者が自立して豊かな生活を送れるように専門的なサービスの向上を目指した。

また、サービス提供実践事例等について各種研修会等の機会を捉え発表した。

更には、種別目標の設定や施設目標の共有化を図り、課題解決に向けて取り組んだ。

2 地域福祉の推進

新たな事業の展開を検討し、年度途中から3事業を新たに実施するなど、地域福祉の推進に貢献した。

また、社会福祉法人の使命の一つである社会貢献について、法人（各施設）が現在持っている専門性を活かせるよう情報収集に努め、法人としての社会貢献の在り方を検討した。

3 経営基盤強化

施設財務状況と法人財務状況から、法人及び各施設の目標とすべき経営指標を設定し、経営意識の向上に努めた。コンプライアンスに対する職員の意識調査を基に改善を図るとともに、月次実績報告会議の運用に向けた検討を行った。

4 人材の育成

職員満足度向上に向けて職員提案制度の検討を行うとともに、各種団体が主催する研修会等で事例発表に取り組むことで研修の内製化に取り組んだ。また、事業団諸規則と事業内容等の職員認知度を調査し、規則や事業等の認知度向上に向けての改善策を講じた。

5 法人の一体的経営

組織体制の再編整備、長期収支計画策定、施設整備の推進や養護老人ホームのあり方に関する情報収集などの推進目標達成に向けて、積極的に取り組むとともに、経営計画の年間スケジュールを策定し、進捗管理を行った。

6 理事会等の開催状況

理事会及び評議委員会を開催し、事業計画・事業報告、予算、決算、定款・諸規程等の改正、理事の選任、評議員と副理事長の委嘱、施設長の任免、施設整備等、法人の業務に関する重要事項について審議、同意された。



ねんごわーん

施設の窓から

児童養護施設 若葉学園

はじめてのお菓子作り

子どもたちから、「調理をしたい」という要望があり、昨年度から、各棟のキッチンを利用して、部屋別に調理実習を始めました。まず、予算内で作れるメニューを一緒に考え、お菓子を作ることにしました。買い物リストを作り、買い物に行きましたが、子どもたちは食材や調味料などの売り場にあるのかわからず、探検しながら買い物しました。

学園に戻り、白玉を丸める担当、チョコを湯煎する担当、ホットケーキの生地を作る担当に分かれて取り組みました。他のことに興味が沸くと、手を止め、他児の手伝いをして、なかなか進みませんでした。一時間以上かけ、やつ

と下準備が出来ました。ホットケーキは、自分の分をそれぞれ焼いたのですが、大雑把な子が、何度も何度も焼き加減を確認するなど、普段の生活から想像出来ない行動に驚かされました。部屋中を漂う甘い匂いに、以前「家庭的雰囲気とは、その家に入ったときの『匂い』ではないか」と聞いたことを、ふと思いつきました。



出来上がったお菓子を前に「焦げたけど、美味しかったね」、「また作りたいね」と子どもたちとの会話も弾みました。次はチャーハン作りに挑戦したいと思います。

児童指導員 尾曲真之介

養護老人ホーム 慈眼寺寿光園 開園記念外食会を終えて

開園五十二年目を迎え、お祝いの外食会を鹿児島市内のホテルにて行いました。

朝から天候に恵まれ、ホテルの窓からは、桜島と錦江湾が、きれいに見え、利用者の



方々は、景観を堪能されていました。

会食は、今年満百歳を迎えたNさんの乾杯の音頭から始まり、いつもとは違う雰囲気の中でおしゃべりをしながら、たくさんのご馳走をいただきました。「おいしかねえ。これは何やるかい」、「今日は来れてよかった最高じゃ」、「来年も元気しちよらんないかなー」と会話は弾み、この上ない幸せな表情をしておられました。クラブ講師や第三者委員の皆様にもおこしいいただき、利用者の方々と一緒に会食を楽しみました。



踊りクラブ講師による祝いの舞が披露されると、利用者の方々は、お箸も止まり一緒に手拍子をしたり歌を歌うなど大変喜ばれました。

一年また一年と施設も利用者の方々も年を重ねていくわけですが、今後も、利用者様の笑顔が見られる施設作りを目指したいと思います。

支援員 上田 泰士

保育所 同胞保育園

芽が出たよ、葉っぱが出たよ

五月一日、年長児のさくら組が野菜の苗と一緒にひまわり



りとふうせんかづらの種を花壇に蒔きました。指で土に穴を掘る作業が気に入ったようで、次々に指を入れて種を蒔く子どもたち。約一週間後、小さな芽が出てきたのを見つけて「わあ、かわいい」と目を輝かせ、その後も、日に日に成長する姿を見て、職員にどんな様子か話に来てくれました。五月二十九日川内自興園に芋苗植え遠足に出かけた際、いろんな野菜の芽や実がなっている様子をじっと見て「ピーマンの実が小さくくつついている」。



「いろんな形の芽が出ている」と今まで以上に興味を持って見る姿に、自分たちの体験を通してより身近に花が咲く、野菜の実がなることに興味を持ってくれたことはとても嬉しく、この体験が子どもたちの成長の中でまたひとつ気づきが生まれたのではと感じる瞬間でもありました。この夏、大輪のひまわり、ふうせんかづらの花々、そして野菜の収穫を楽しみに「はやく大きくなあれ」と願いながら育てていきたいと思います。

主査保育士 原口 洋子



当園では、食育活動として今年、夏野菜（トマト・なす・とうもろこし・パプリカ・ピーマン）を苗から子どもたちと一緒に植え、成長過程や自然の恵みに感謝して、苦手な野菜でも美味しく食べられるよう大事に育てている最中です。

保育所 鹿児島みなみ保育園
ピーマン、美味しいね！

野菜の中でも一番苦手な野菜として名前の上がること多いピーマンですが、花が咲き実が大きくなるにつれ、愛着が出てきて、ピーマンへ対



する苦手意識も少し減ってきたようです。先日、子どもたちと一緒に収穫したピーマンをカレーの具材として入れたところ、「今までのピーマンが一番おいしい」と苦手な子ども達が喜んで食べてくれる姿を見て、私自身嬉しくなりました。まだまだ、収穫しない野菜があるので他の野菜も喜んで食べてくれるよう、食育を通じて、食べる事の大切さを伝えていきたいと思えます。

栄養士 前田 理沙



五月二十七日、本年度からの新しい行事として「ミニレク大会」を開催しました。輪投げ、ポケットボール、ディスクゲッター、グラントゴルフの四種目を行い、合計点数を競い合いました。日頃スポーツリハビリテーションで体験していることもあり、スムーズに競技が行われ、待つ間も、大勢の方が自分のことのように「がんばれ!」、「あと少し!」と拍手をしながら声援を送る姿や、日頃穏やかな方も力強くプレーし、高得点を出す場面も見られました。皆

障害者支援施設 ゆすの里
初夏だ! 体を動かそう!



さん笑顔を浮かべられ、達成感に満ちあふれていました。ミニレク大会は年六回の実施を予定しております。これからも利用者の皆様に楽しんでいただけるように競技内容を工夫した大会にしていきます。と思います。

支援員 市来 逸人

障害者支援施設 川内自興園
二〇一四ふれあい春まつり

四月二十九日、B型事業所の丹精込めて育てた花々が会場に彩りを添える中、恒例のふれあい春まつりが開催されました。



当日は、雨が心配されましたが、足元の悪い中七〇〇名ほどの方々がご来場してくださいました。地域住民や学生の方々が、自分では買えない物が困難な利用者の引率をしたり、各イベントコーナーへのボランティアとしての協力、また、舞台では、利用者の踊り（アンパンマン体操、炭坑節）、地域住民による五つ太鼓やフラダンス等催し物を披露するなど、地域の方々と利用者が一体となって、会場を盛り上げてくださいました。さらに地域の事業所や民間



の団体から多くの出店があり、行列の出来る店もありました。春まつりの終わるころには、日差しも暑いくらいに晴れ上がっており、大勢の来客の皆様やボランティアの方々、出店して下さった事業所や団体の方々のご理解と努力添えを頂き、盛大にまた無事に春まつりを終了する事が出来ました。誠にありがとうございました。

秋まつりは十一月二十二日に開催予定です。たくさんの方々のご来場を利用者・職員一同お待ちしております。

主査支援員 中峯みどり

ほくさつ障害者就業・生活支援センター
地域に密着した支援を

ほくさつ障害者就業・生活支援センターは今年一月に開所して、半年が経過しました。障害者就業・生活支援センターは鹿児島県内に六カ所設置され、当事業団はそのうち二カ所の委託を受けています。私たちは県内第一号であるかごしま障害者就業・生活支援センターのノウハウを活かしつつ、障害のある方たちが、身近な地域で安心して職業生活を送れるよう支援を展開しています。

開所当初は、かごしま障害者就業・生活支援センターから登録移管のための引継ぎに追われましたが、最近ではハローワークや関係機関からの紹介などの相談も増え、現在の登録者は五十八名です。利用者からは以前より近くなつて相談しやすくなったという声もあり、物理的にも心理的にも近い場所で支援を受けられることの大切さと北薩地区



に障害者就業・生活支援センターができた意味を実感しています。

当センターの登録者Hさんは、就労移行支援事業所での訓練期間中に、雇用体験事業を経て就職しました。就職に至るまでには本人の努力もさる事ながら、多くの関係者の方々の関わりがあり、家族も含めた本人を支えるネットワークの中で勝ち得た職場だと思っています。

当センターもそんな彼らを支える機関として、定期的な職場訪問や生活の見守りなど定着支援を行っています。職



場訪問では悩みや問題を抱え、一緒に苦しむこともあります。が、前回できなかったことができたとか、その職場に馴染み、成長している姿を見ると私たち支援者も励まされます。

就労支援にはご本人の努力はもちろんですが、たくさんの関係機関・家族・企業の協力が必要です。私たちはその連携拠点として、たくさんの人をつなげ、この北薩地域でその役割を果たしていきたいと思っています。

主査支援員 下蘭左和子

鹿児島市南部親子つどいの広場

こんにちは たにっこりん です。



谷山地区は新しい住宅が増え、利用する親子の子どもさんの多くは3歳未満です。初めての育児に戸惑っている保護者も多く、広場では、毎日のようにスタッフが保護者の方の身近な相談を聞いています。友達とのかかわり方や心身の発達や様子、偏食の対応の仕方など悩みはつきません。そのような

嬉しく思っています。

来館者数は平均して百七十名を超え、賑やかな毎日です。絵本の読み聞かせやふれあい遊びなどのミニイベント、季節ごとの壁面制作やカレンダー作りなどに参加して、親子で楽しいひと時を過ごしていただき、

谷山地区は新しい住宅が増え、利用する親子の子どもさんの多くは3歳未満です。初めての育児に戸惑っている保護者も多く、広場では、毎日のようにスタッフが保護者の方の身近な相談を聞いています。友達とのかかわり方や心身の発達や様子、偏食の対応の仕方など悩みはつきません。そのような

なとときに、少しでも子育てのお役に立ちたいという思いから、当法人の強みである専門性（栄養士・看護師・臨床心理士等）を活かした講座や相談を行っています。気軽に専門的なことについて相談できるのももちろんですが、保護者の方にとって、話を聞いてもらえることが一番の安心に繋がっているようです。この私たちの思いが少しずつ実を結び、地域の皆様の子育てにお役に立てているのではと感じています。皆さんのご協力に感謝し、今後も「たにっこりん」は、保護者の身近な相談相手でありたいと思っています。今後とも、よろしく願います。

保育士 江崎 恵理



案内図



所在地

鹿児島市西谷山1丁目3番2号
 (住所表記が変わりました)
 TEL 099-266-6501 FAX 099-266-6502
 E-mail tanicorin@kagoshima-swc.jp

スタッフ紹介



皆様のお越しをお待ちしています。

平成26年度 新規採用職員紹介

- ① 長野 宏子 (ながの ひろこ)
- ② 鹿児島みなみ保育園 保育士
- ③ ランニング・旅行
- ④ 友人と会って、おしゃべりする。軽い運動をする。大好きなハワイに行く。
- ⑤ 思い立ったらすぐ行動するタイプで、好奇心旺盛です。自分の経験はもちろん、新しい事にチャレンジして今後の仕事に生かしていきたいと思います。元気だけは自信があるので、明るく楽しく頑張りたいと思います。



- ①氏名
- ②勤務先・職名
- ③特技・趣味
- ④リフレッシュ法
- ⑤自己アピール・抱負

- ① 中原 君子 (なかはら きみこ)
- ② 鹿児島みなみ保育園 保育士
- ③ 読書
- ④ ショッピング・掃除
- ⑤ 笑顔とユーモアで子ども達と接して楽しく!! 職員と一緒に思いやりを持って仕事に取り組みたいです。



- ① 濱川 翔吾 (はまかわ しょうご)
- ② 仁風学園 児童指導員
- ③ 特技：サッカー
趣味：読書
- ④ DVD鑑賞
- ⑤ 何事にも積極的に取り組み、失敗したら笑顔でカバーしていきたいと思っています。



- ① 蒲牟田 里沙 (かまむた りさ)
- ② 菊花寮 少年指導員
- ③ 韓国語勉強
- ④ スポーツ観戦
- ⑤ 何事にも笑顔を忘れず一生懸命取り組んでいきたいです。よろしくをお願いします。



- ① 増満 誠郎 (ますみつ せいろう)
- ② 若葉学園 児童指導員
- ③ 特技：空手
趣味：キャンプ、フットサル、お酒
- ④ いっぱい運動した後に、お酒を少々おいしくいただけます。
- ⑤ いつまでも若い気持ちで楽しく笑顔で働きます。



- ① 緑 貴弘 (みどり たかひろ)
- ② ゆすの里 理学療法士
- ③ サッカー・フットサル
- ④ ドライブ・旅行
- ⑤ 一生懸命、頑張りたいと思います、よろしくをお願いします!



- ① 新村 奈緒美 (しんむら なおみ)
- ② 若葉学園 児童指導員
- ③ 特技：バレーボール
趣味：映画鑑賞
- ④ 面白い映画を観て、たくさん笑ってリフレッシュします。
- ⑤ 他の人を驚かせるような行動をとり、抜けたところもありますが、自分なりに精一杯子どもと向き合って行きたいです。



- ① 大迫 夏紀 (おおさこ なつき)
- ② 川内自興園 支援員
- ③ 音楽鑑賞
- ④ 散歩、甘いものを食べる
- ⑤ 利用者さんに寄り添える支援員を目指して、一步一步頑張ります。



- ① 松山 美朗 (まつやま よしろう)
- ② 慈眼寺寿光園 園長
- ③ スポーツ観戦 (アンチ巨人)・囲碁
- ④ スポーツジムでのトレーニング (週1回、1時間程度)・温泉
- ⑤ 3月に県を定年退職し、4月からお世話になっております。養護老人ホームを取り巻く状況は様々な問題があるようですが、経験豊富な方々の知恵を借りて取り組んでいきたいと考えています。



- ① 古賀 ひかり (こが ひかり)
- ② 事務局 主事
- ③ 特技：書道
趣味：音楽鑑賞
- ④ 温泉、買い物
- ⑤ 常に笑顔忘れず、ひとつひとつの仕事丁寧素早くこなせるように努めます。一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひ致します。



- ① 山田 文香 (やまだ あやか)
- ② デイセンター寿光園 生活相談員
- ③ 特技：サッカー
趣味：映画鑑賞・海外ドラマ
- ④ 犬の散歩
- ⑤ 事業団にとって必要な人材になれるよう、指導を仰ぎながら一歩ずつ成長していきたいです。





鹿児島みなみ保育園 園長
海江田優さん



今回は、鹿児島みなみ保育園の園長・海江田優さんにお話を伺いました。

Q 事業団で一番の思い出は何ですか？

A 若葉学園でバレエ部と一緒に合宿して練習を重ねてきたチームを突然の異動のため九州大会に行けず、次に引き継いだ蓮子副園長が優勝監督になったことです。とても悔しい思い出ですね（笑）

Q 保育園勤務をされて、どんな時に楽しいと感じますか？

A 子ども達に紙芝居を読んだときの輝いた目を見ているときです。未来ある子ども達が保育園で優しさを得て育ってほしいです。

Q リフレッシュ方法を教えてください。

A 旅行に行き、ドライブしながら各地の風土が感じられる道の駅めぐりをすることです。オススメは熊本の「たちばな」「うき」「七城メロンドーム」です。

Q ユーモアセンス抜群の園長ですが、モットーは何ですか？

A 職場は楽しく仕事は厳しくがモットーで職員、利用者みんなが楽しく過ごせる、風とおしのよい雰囲気を作りたいですね。

Q 後輩へメッセージをお願いします。

A 時代は変わって福祉もその流れに乗らなければならぬ。先駆性というのはアイデアだと思う。みんな若い職員が考えを出しあえる雰囲気を作ってほしいです。「福祉は人なり」人あつての組織であることを常に忘れずにいてほしいです。

終始、笑顔でユーモアたっぷりに事業団への熱い思いを聞かせていただきました。お忙しい中、楽しいお話をありがとうございました。

インタビュー

事務局 前田ちほみ

「イクメン」になりませんか？

～パパの育児休業を応援します！～



1 育児休業ってどんな制度？

- 育児休業は女性だけでなく、男性も当然に取得できます。また父母ともに育児休業を取得する場合、育児休業取得可能期間を子が1歳2ヶ月に達するまでに延長することができます。
- 妻が専業主婦の場合や、育児休業中でも夫は育児休業を取得できます。
- 育児休業およびそれに準ずる休業により無給になった場合でも、育児休業給付などの所得補償や、社会保険料の免除などの経済的支援があります。

2 どんなタイミングで、どのくらいの期間取る？

育児・介護休業法の改正によってパパが育児休業をとりやすくなっています。モデルパターンを参考に取得してみませんか？

出産直後や、職場復帰直後の特に大変な時期に育児休業を取得して、ママをサポート



配偶者の出産直後8週間以内の期間内にパパが育児休業を取得した場合には、特別な事情がなくても、再度の取得が可能です！

ママが専業主婦でも育児休業を取得して、出産後のママをサポート



ママが専業主婦の場合や、育児休業中である場合にもパパは、育児休業や、育児のための短時間勤務制度を利用することができます！

苦情解決の対応状況

平成 25 年度に受け付けた当事業団苦情対応規程に基づく苦情の件数は、事業団全体で 44 件でした。

施設種別	苦情 件数	苦情申出人				苦情種別内訳						
		利用者	家族	代理人	その他	職員の 接遇	サービスの 質量	利用料	説明・ 情報 提供	被害・ 損害	権利 侵害	その他
児童養護施設	6	1	4		1	3	2		1			
養護老人ホーム	6	2	3		1	2			1	1		2
婦人保護施設	1	1				1						
保育所	12		11		1	10	1			1		
地域子育て支援拠点事業	2	2				2						
母子生活支援施設	1	1										1
障害者支援施設	16	13	3			1	6		1			8
合計	44	20	21		3	19	9		3	2		11

寄せられた苦情に対しましては、「相談・苦情対応マニュアル」に従い迅速かつ適切に対応し解決しています。
今後も利用者・関係者の皆様からの声（相談・苦情）を大切に受け止めサービスの向上に努めていきます。

役員名簿

役職名	氏 名	現 職 名 等
理事長	白 尾 國 豊	
副理事長	永 野 司	鹿児島県保健福祉部次長
常務理事	南 園 隆 夫	(事務局長兼務)
理 事	諏 訪 弘 美	前 鹿児島県社会福祉協議会 常務理事
//	米 山 昭 規	鹿児島県民生委員児童委員協議会会長
//	内 門 公 孝	鹿児島県社会福祉協議会 常務理事
//	東 忠 昭	菊花寮長
監 事	野 間 健 三	元 県立牧ノ原学園長
//	池 田 利 博	前 仁風学園長

評議員名簿

役員名	氏 名	現 職 名 等
評議員	白 尾 國 豊	(理事長)
//	南 園 隆 夫	(常務理事兼事務局長)
//	田 中 洋	希望ヶ丘病院 医師
//	渡 邊 正 人	鹿児島県民生委員児童委員協議会 副会長
//	浜 崎 研	鹿児島県共同募金会常務理事兼事務局長
//	小 藺 一 哉	鹿児島県身体障害者福祉協会常務理事兼事務局長
//	洲 崎 明 郎	鹿児島県手をつなぐ育成会常務理事兼事務局長
//	九 万 田 登	鹿児島県老人クラブ連合会常務理事兼事務局長
//	古 川 武 春	鹿児島県障害者職業センター所長
//	迫 貴 美	鹿児島県青少年男女共同参画課長
//	乗 添 隆 一	鹿児島県社会福祉課長
//	馬 場 義 孝	鹿児島県介護福祉課長
//	下 村 一 彦	鹿児島県障害福祉課長
//	樋 渡 真 人	鹿児島県子ども福祉課長
//	足 利 信 行	川内自興園愛護会長
//	臼 井 英 雅	若葉学園長
//	海 江 田 優	鹿児島みなみ保育園長

平成 25 年度 決算報告

資金収支計算書

平成 26 年 3 月 31 日現在 (単位：円)

勘定科目	予 算	決 算	差 異
事業活動による収支	1,705,046,000	1,710,250,082	△ 5,204,082
事業活動収入計	1,609,232,000	1,508,151,366	101,080,634
事業活動支出計	95,814,000	202,098,716	△ 106,284,716
事業活動資金収支差額	890,000	939,940	△ 49,940
施設整備等による収支	247,091,000	244,700,382	2,390,618
施設整備等収入計	△ 246,201,000	△ 243,760,442	△ 2,440,558
施設整備等支出計	247,091,000	244,700,382	2,390,618
施設整備等資金収支差額	△ 246,201,000	△ 243,760,442	△ 2,440,558
その他の活動による収支	256,550,000	201,356,200	55,193,800
その他の活動収入計	87,044,000	86,438,720	605,280
その他の活動支出計	169,506,000	114,917,480	54,588,520
その他の活動資金収支差額	15,569,000	0	15,569,000
予備費支出	3,550,000	73,255,754	△ 69,705,754
当期資金収支差額合計	324,724,000	324,728,021	△ 4,021
前期末支払資金残高	328,274,000	397,983,775	△ 69,709,775
当期末支払資金残高			

事業活動計算書

平成 26 年 3 月 31 日現在 (単位：円)

勘定科目	当年度決算	前年度決算	差 異
サービス活動増減の部	1,691,341,916	1,653,277,633	38,064,283
サービス活動収益計	1,572,555,815	1,470,284,519	102,271,296
サービス活動費用計	118,786,101	182,993,114	△ 64,207,013
サービス活動増減差額	18,908,166	16,187,353	2,720,813
サービス活動外増減の部	0	17,020	△ 17,020
サービス活動外収益計	18,908,166	16,170,333	2,737,833
サービス活動外費用計	18,908,166	16,170,333	2,737,833
サービス活動外増減差額	137,694,267	199,163,447	△ 61,469,180
経常増減差額	348,267,984	11,515,720	336,752,264
特別増減の部	347,328,053	58,439,537	288,888,516
特別収益計	939,931	△ 46,923,817	47,863,748
特別費用計	939,931	△ 46,923,817	47,863,748
特別増減差額計	138,634,198	152,239,630	△ 13,605,432
当期活動増減差額	569,843,010	550,303,380	19,539,630
繰越活動増減差額の部	708,477,208	702,543,010	5,934,198
前期繰越活動増減差額	197,000,000	0	197,000,000
当期繰越活動増減差額	75,300,000	132,700,000	△ 57,400,000
その他の積立金取崩額	75,300,000	132,700,000	△ 57,400,000
その他の積立金積立額	830,177,208	569,843,010	260,334,198
次期繰越活動増減差額	830,177,208	569,843,010	260,334,198

貸借対照表

平成 26 年 3 月 31 日現在 (単位：円)

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増 減	勘定科目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	594,934,067	440,771,465	154,162,602	流動負債	235,551,792	154,846,718	80,705,074
固定資産	3,042,893,592	3,035,247,017	7,646,575	固定負債	256,399,446	250,147,032	6,252,414
				負債の部合計	491,951,238	404,993,750	86,957,488
				純資産の部			
基本財産	2,229,104,768	2,311,409,146	△ 82,304,378	基本金	531,752,699	531,752,699	0
				国庫補助金等特別積立金	1,535,885,723	1,599,668,232	△ 63,782,509
				その他の積立金	248,060,791	369,760,791	△ 121,700,000
その他の固定資産	813,788,824	723,837,871	89,950,953	次期繰越活動増減差額	830,177,208	569,843,010	260,334,198
				純資産の部合計	3,145,876,421	3,071,024,732	74,851,689
資産の部合計	3,637,827,659	3,476,018,482	161,809,177	負債及び純資産の部合計	3,637,827,659	3,476,018,482	161,809,177

財産目録

平成 26 年 3 月 31 日現在 (単位：円)

資産・負債の内訳		
I 資産の部		
流動資産		610,844,706
固定資産		3,042,893,592
	資産の部合計	3,653,738,298
II 負債の部		
流動負債		251,462,431
固定負債		256,399,446
	負債の部合計	507,861,877
	差引純資産	3,145,876,421



「第二回 福祉の現場から私たちの提言」スピーチコンテスト 鹿児島県社会福祉協議会会長賞受賞

「この豊かな鹿児島をめざして」

平成二十六年一月二十三日かごしま県民交流センターにて「第二回 福祉の現場から私たちの提言」スピーチコンテストが行われ、応募作品五十一件の中、仁風学園児童指導員兼子ちひろさんが鹿児島県社会福祉協議会会長賞を受賞しました。

社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会・鹿児島県民生委員児童委員協議会及び鹿児島県社会福祉法人経営者協議会主催で行われたこのコンテストは、福祉の現場や地域で活躍されている方々から、喜び、やりがい等を広く県民へ発信し、福祉の現場をより一層理解していただくことによって、今後この豊かな鹿児島づくりのために共に考え共に行動できることを目標に昨年度より実施されています。

兼子さんのスピーチは「未来ある子ども達と共に」を題材に、仁風学園で子どもたちへの支援に奮闘する姿、子どもの成長など熱い思いが伝わるスピーチでした。

このスピーチコンテストは来年度も行われるとのことで、是非多くの職員へ応募していただき、福祉に携わる中で受ける感動、やりがい、思いを伝えていただきたいと思えます。



施設名	職名	氏名	
慈眼寺寿光園	園長	山下 侯人	下段 中央
ゆすの里	生活支援課長	木通 順子	下段 左
仁風学園	児童指導員	有本 恵梨	下段 右
同胞保育園	保育士	横山 智子	楯内

お疲れ様でした

平成二十六年三月三十一日付退職
平成二十六年六月三十日付退職

資格取得
社会福祉士 益 美詠（同胞保育園）

おめでとう

平成二十六年二月十三日にゆすの里全面改築工事が始まりました。
現在、建物の基礎工事部分が概ね完了し、鉄骨工事に着手しています。工事期間中は、利用者の安全に十分配慮しながら年度内の完成を目指しよりよい施設整備ができるよう取り組みでまいりたいと思います。

ゆすの里全面改築工事が始まりました！



社会福祉法人 鹿児島県社会福祉事業団の概要

運営方針

当法人は、多彩な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、またその有する能力に応じ自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、当法人が設置する社会福祉施設を運営し、さらに県・市町村の委託事業を行い県民福祉の増進に寄与します。



地図	施設種別	施設・事業所名	所在地	利用定員
①	法人本部	事務局	〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号 鹿児島県社会福祉センター4階 TEL099-257-7667 FAX099-259-3939 E-mail syakai-j@topaz.ocn.ne.jp	—
②	児童養護施設	仁風学園	〒891-1304 鹿児島市本名町458-1 TEL099-294-2354 FAX099-294-4410 E-mail jinpugakuen@axel.ocn.ne.jp	100
③	児童養護施設	若葉学園	〒899-5411 始良市鍋倉190番地2 TEL0995-65-4313 FAX0995-65-4609 E-mail nkwakaba@hyper.ocn.ne.jp	100
④	養護老人ホーム	慈眼寺寿光園	〒891-0146 鹿児島市慈眼寺町16番地7号 TEL099-268-2514 FAX099-267-7981 E-mail jigenji@vega.ocn.ne.jp	70
	指定訪問介護事業	訪問介護ステーション 寿光園		—
	指定通所介護事業	デイセンター寿光園		10
—	婦人保護施設	錦江寮	—	30
⑤	保育所	同胞保育園	〒892-0819 鹿児島市柳町3番地3号 TEL099-222-2654 FAX099-222-2694 E-mail douhouchild@synapse.ne.jp	150
	地域子育て支援拠点事業	上町わくわくランド		—
	放課後児童健全育成事業	同胞学童クラブ		—
⑥	保育所	鹿児島みなみ保育園	〒890-0068 鹿児島市東郡元町18番地3 TEL099-253-3145 FAX099-253-3146 E-mail kago-minami@po3.synapse.ne.jp	110
⑦	地域子育て支援拠点事業	鹿児島市南部親子つどいの広場 (たにっこりん)	〒891-0117 鹿児島市西谷山1丁目3-2 TEL099-266-6501 FAX099-266-6502 E-mail tanikkorin@kagoshima-swc.jp	—
—	母子生活支援施設	菊花寮	—	20世帯
⑧	障害者支援施設	ゆすの里	〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺1丁目1番1号 TEL099-273-4175 FAX099-273-4177 E-mail yusu-jim@muse.ocn.ne.jp	日中活動80 施設入所70
⑨	障害者支援施設	川内自興園	〒895-0007 薩摩川内市百次町1110 TEL0996-22-4801 FAX0996-22-4803 E-mail jikouen@isis.ocn.ne.jp	日中活動140 施設入所100
	指定障害福祉サービス事業 (指定共同生活援助)	川内ひまわりホーム	〒895-0007 薩摩川内市百次町1092-3 TEL0996-20-1261 E-mail jikouen@isis.ocn.ne.jp	23
			〒895-0007 薩摩川内市百次町1611-11 TEL0996-25-4883 E-mail jikouen@isis.ocn.ne.jp	
	特定相談支援事業	あおぞら	〒895-0007 薩摩川内市百次町1092-3 TEL0996-22-5006 FAX0996-22-5008 E-mail jikouen@isis.ocn.ne.jp	—
⑩	障害者就業・ 生活支援センター事業	かごしま障害者就業・ 生活支援センター	〒892-0838 鹿児島市新屋敷町16番217号 鹿児島県住宅供給公社ビルC棟2階217号室 TEL099-248-9461 FAX099-248-9462 E-mail kssc@minos.ocn.ne.jp	—
⑪	障害者就業・ 生活支援センター事業	ほくさつ障害者就業・ 生活支援センター	〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1 TEL0996-29-5022 FAX0996-29-5033 E-mail hssc@road.ocn.ne.jp	—